

授業科目名： 日本国憲法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 生駒 俊英 担当形態：単独
科 目	第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分	日本国憲法		
授業の到達目標及びテーマ 日本国憲法に関する基本的な知識を習得し理解することを目的とする。			
授業の概要 戦後日本の平和と民主主義の理念のもとに平和憲法である日本国憲法が制定された歴史を踏まえ、私たちの生活と権利を守る日本国憲法の基本的人権の精神を学び、日本国憲法を実際の生活に活かすことを目指す。同時に憲法は国家の動向を監視する役割もあり、国家のあり方を監視し私たちの生活と権利を守る存在としての日本国憲法の歴史的・現代的意義を学ぶ。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 講義予定、講義内容、授業の進め方等の説明 第2回：憲法の意味、憲法前文 形式的・実質的意味の憲法、前文の内容・法的性質 第3回：国民主権 国民主権の意味 第4回：天皇 天皇の地位・権能 第5回：平和主義 憲法9条の解釈 第6回：基本的人権1 人権の概念・種類・主体 第7回：基本的人権2 公共の福祉、幸福追求権、法の下での平等 第8回：基本的人権3 精神的自由権（思想・良心の自由、信教の自由） 第9回：基本的人権4 精神的自由権（学問の自由、表現の自由） 第10回：基本的人権5 経済的自由権、社会権 第11回：国会 国会の地位・権能 第12回：内閣 内閣の地位・組織 第13回：裁判所 第14回：地方自治 第15回：全体のまとめ 定期試験			
テキスト 森口佳樹ほか『ワンステップ憲法』（嵯峨野書院、2015年）			
参考書・参考資料等 特になし。			
学生に対する評価 定期試験(筆記試験100%)			

体 育	必 修 科 目	2 単 位	担当教員名： 寛 尚 夫
			担当形態：単独
科 目	第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分	体育		
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> スポーツの意義を理解し、健康の保持増進とともに、体力の向上、人間関係の形成、さらにはスポーツの普及や振興について、実際にスポーツの体験を通して修得する。			
<b>授業の概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備運動を兼ねて体力向上トレーニングを取り入れる</li> <li>・ 各時間ごとにスポーツ動作と身体のしくみについてポイントを説明する</li> <li>・ 各種スポーツを体験することにより、スポーツの楽しさを理解する</li> </ul>			
<b>【 授 業 計 画 】</b>			
第 1回：オリエンテーリング	講義の進め方及び評価に関する説明など。 受講生自己紹介、身体ほぐし運動など		
第 2回：柔軟性向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンセントリック筋活動の特徴を説明できる</li> <li>・ バドミントン競技の概要説明とスキル向上課題提示</li> </ul>		
第 3回：柔軟性向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エキセントリック筋活動の特徴を説明できる</li> <li>・ バドミントン競技のスキル向上を図る 簡易ゲーム</li> </ul>		
第 4回：柔軟性向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイソメトリック筋活動の特徴を説明できる</li> <li>・ バドミントン競技 シングルス、ダブルス簡易ゲーム</li> </ul>		
第 5回：ストレッチトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筋活動3つのタイプを説明できる</li> <li>・ フットサル競技の概要説明とスキル向上課題提示</li> </ul>		
第 6回：ストレッチトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筋線維のタイプの違いを説明できる</li> <li>・ フットサル競技 スキル向上 簡易ゲーム</li> </ul>		
第 7回：ストレッチトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筋肉の緊張と弛緩を説明できる</li> <li>・ フットサル競技 スキル向上 簡易ゲーム</li> </ul>		
第 8回：体幹力向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捻挫防止対策を説明できる</li> <li>・ フットサル競技 スキル向上 簡易ゲーム</li> </ul>		
第 9回：体幹力向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 靭帯の働きを説明できる</li> <li>・ バレーボール競技の概要説明とスキル向上課題提示</li> </ul>		
第10回：体幹力向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動神経の有無について説明できる</li> <li>・ バレーボール競技の簡易ゲーム</li> </ul>		
第11回：体幹力向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筋肉の太さと筋力関係を説明できる</li> <li>・ バレーボール競技の簡易ゲーム</li> </ul>		
第12回：体幹力向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モーターユニットの動員を説明できる</li> <li>・ バレーボール競技の簡易ゲーム</li> </ul>		
第13回：学園周辺ウォーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コスモス公園及び日野川堤防辺りを約60分ウォーキング</li> </ul>		
第14回：アジリティ向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速筋の働きを説明できる</li> <li>・ バasketボールの概要説明とスキル向上課題</li> </ul>		
第15回：アジリティ向上トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 股関節の運動を説明できる</li> <li>・ Basketball簡易ゲーム</li> </ul>		

第16回:アジリティ向上トレーニング	・ハムストリングの作用が説明できる ・バスケットボール簡易ゲーム
第17回:アジリティ向上トレーニング	・ふくらはぎの筋肉と足首の運動を説明できる ・バスケットボールの簡易ゲーム
第18回:姿勢力向上トレーニング	・からだのバランスを説明できる ・サッカー競技の概要説明とスキル向上課題
第19回:姿勢力向上トレーニング	・肩の運動系を説明できる ・サッカー競技のスキル向上と簡易ゲーム
第20回:姿勢力向上トレーニング	・押す、引く運動の作用・反作用を説明できる ・サッカー競技のスキル向上と簡易ゲーム
第21回:姿勢力向上トレーニング	・ジャンプ前のしゃがみ込み動作の意味を説明できる ・サッカー競技のスキル向上と簡易ゲーム
第22回:学園周辺ウォーキング	・大安禅寺方面へウォーキング約60分
第23回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
第24回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
第25回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
第26回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
第27回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
第28回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・体力・運動能力テスト 種目を実施 ・学生主体で種目・グループを決めて行う
第29回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・体力・運動能力テスト 種目を実施 ・学生主体で種目・グループを決めて行う
第30回:各種トレーニングをウォーミングアップで	・学生主体で種目・グループを決めて行う
テキスト	なし
参考書・参考資料等	なし
学生に対する評価	<p>① 毎時用具の準備及び後始末への協力状況</p> <p>② 授業参加への姿勢（積極性）</p> <p>③ 小評価（スキル向上評価）など</p> <p style="text-align: right;">以上、総合的に評価をします。</p>

シラバス：教科に関する科目（作成例）

授業科目名： 英語 I	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 舘 清隆 担当形態：単独
科目	第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分	外国語コミュニケーション		
<p>授業の到達目標及びテーマ 高校で学んだ基礎的知識を補強しつつ、基礎レベルの英文読解力・聴解力・英文作成能力・英会話力の充実を図ることを目的とする。</p>			
<p>授業の概要 日常的な文化・社会・国際問題などや学生が関心を寄せることができる身近な話題に関する英文のエッセイや記事を題材にして、語彙力の増加と基本的な構文の再確認及び英文の反復練習に重点をおきながら、上記の四つの英語コミュニケーション能力をバランスよく身につけられる学習を行う。</p>			
<p>授業計画 第1回：オリエンテーションと第1章School Life を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第2回：第1章School Life を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第3回：第3章Health を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第4回：第3章Health：を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第5回：第8章Smoking and Drinking を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第6回：第8章Smoking and Drinking を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第7回：第1週～第6週までの総まとめと中間テスト 第8回：第13章Medical Care を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第9回：第13章Medical Care を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第10回：第16章Bath を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第11回：第16章Bath を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第12回：第18章Daylight Saving Time を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第13回：第18章Daylight Saving Time を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 第14回：第22章Tipping を用いたリーディング・リスニング・ライティング活動 第15回：第22章Tipping を用いたプレゼンテーション・スピーキング活動 定期試験</p>			
<p>テキスト <i>Simply America, Simply Japan</i> 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen他（南雲堂）</p>			
<p>参考書・参考資料等 —</p>			
<p>学生に対する評価 小テスト（随時行うがその都度予告する）20%、定期試験（中間テストと期末テスト）80%</p>			

授業科目名： 情報科学	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 月僧 博和 担当形態：単独
科目	第66条の6に定める科目		
施行規則に定める 科目区分	情報機器の操作		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>1.情報科学の学問対象であるコンピュータのハードウェアとソフトウェア、情報表現・情報処理・情報検索の技術、情報倫理について理解する。</p> <p>2.高度情報化社会で使われる情報技術であるワープロソフトWord、表計算ソフトExcel、プレゼンテーションソフトPowerPoint、インターネットのそれぞれの基礎的・応用的使い方を習得し、情報機器の操作に慣れる。</p> <p>3.表計算ソフトExcelを使って、統計処理ができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>高度情報処理社会において、個々人には、日常生活の営みにおいてインターネット等情報処理基盤の活用に係る一定の技術（情報リテラシー）が求められると共に、社会において果たすべき役割に対して情報処理基盤の利用が許可されている。情報処理基盤を、不正を排除し適正に運用するためには、上記一定の技術に加えて、基盤を共有する社会のガバナンスやコンプライアンスに対する理解と、適正な姿勢が必要である。個々人の能力を大幅に拡大し、時に無限の可能性を与えるように見える情報処理基盤が諸刃の剣であることの理解の上に、これに対する技術と姿勢をバランス良く身につけることを目的とする。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：コンピュータのハードウェアとソフトウェアについて説明できる。 コンピュータとは、ハードウェアとは、コンピュータの基本構成、ソフトウェアとは、プログラミング言語</p> <p>第2回：高度情報化社会で使われる情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットや情報倫理について説明できる。 情報表現・情報処理・情報検索の技術、インターネットの仕組みと応用、情報倫理</p> <p>第3回：ワープロソフトWordを使った基礎的情報表現ができる。 画面構成、文書の作成、表の作成、文書の編集、文書の保存・印刷</p> <p>第4回：ワープロソフトWordを使った応用的情報表現ができる。 図形を使った文書作成、長文の作成、文書の校閲、Excel データの利用、便利な機能</p> <p>第5回：表計算ソフトExcelを使った基礎的情報処理ができる。 画面構成、表作成、表内計算、ソート、検索・抽出、グラフ作成、保存・印刷</p> <p>第6回：表計算ソフトExcelを使った応用的情報処理ができる。 関数の利用、データベースの活用、ピボットテーブル、便利な機能</p> <p>第7回：プレゼンテーションソフトPowerPointを使った基礎的プレゼンテーション資料の作成ができる。 画面構成、文字入力、表作成、グラフ作成、図形作成、画像挿入、保存・印刷</p> <p>第8回：プレゼンテーションソフトPowerPointを使った応用的プレゼンテーションができる。 画像の加工、Word・Excelデータの利用、原稿作成、プレゼンテーションの校閲、スライドショー</p> <p>第9回：インターネットの基礎的活用ができる。 ホームページの検索・利用</p> <p>第10回：インターネットの応用的活用ができる。 メディカルオンラインを使った医学文献検索</p>			

- 第1 1回：表計算ソフトExcelを使って、基礎的統計計算ができる。  
 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差、変動係数、歪度、尖度、度数分布表作成、ヒストグラム作成
- 第1 2回：表計算ソフトExcelを使って、相関分析と回帰分析ができる。  
 散布図、相関係数、相関分析、回帰直線、決定係数、回帰分析
- 第1 3回：表計算ソフト Excel を使って、2項分布、ポアソン分布、正規分布を求めることができる。  
 2項分布、ポアソン分布、正規分布
- 第1 4回：表計算ソフトExcelを使って、母平均の推定ができる。  
 推測統計学とは、母集団、標本、標本平均の分布、母集団と標本の関係、中心極限定理、信頼度、区間推定
- 第1 5回：表計算ソフトExcelを使って、仮説検定ができる。  
 仮説検定とは、仮説検定の手順、帰無仮説と対立仮説、有意水準、両側検定、片側検定、Z検定、t検定

テキスト

- ・菅民郎著：Excelで学ぶ統計解析入門, Ohmsha, 2013.

参考書・参考資料等

- ・小舘香椎子他著：教養のコンピュータサイエンス情報科学入門, 丸善, 2001.
- ・小林健一郎他著：教養情報科学概論－ユビキタス時代の情報活用－, 共立出版, 2006.
- ・佐々木良一他著：情報科学入門 教養としてのコンピュータ, 日本理工出版会, 2006.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft Word 2013基礎, FOM出版, 2015.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft Word 2013応用, FOM出版, 2015.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft Excel 2013基礎, FOM出版, 2013.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft Excel 2013応用, FOM出版, 2013.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft PowerPoint 2013基礎, FOM出版, 2015.
- ・富士通エフ・オー・エム株式会社著：よくわかるMicrosoft PowerPoint 2013応用, FOM出版, 2015.

学生に対する評価

提出課題100%